



❀ 台風廿一号被害について

先ず以て、台風廿一号の被害に遭われました皆様へ心よりのお見舞いを申し上げる次第です。先月四日に関西を直撃した台風廿一号は、上陸時の気圧が九五〇ヘクトパスカルで、近年稀に見る強い勢力の台風であった事から、重々に警戒はしていたものの、嵐の前の静けさの如く、直前まで強い風も、強い雨もなく、不思議に思っていた直後に、突然の突風が吹き荒れ、時間にして一時間ほどの間に、氏地である梅田一帯においても多くの被害をもたらしました。

当宮においては、御神木の一つである、七本松ゆかりの黒松が根本から倒伏してしまったのを筆頭に、社務所の前栽の塀が倒壊、傷んでいた社殿の屋根にかけていたシートが飛んでいくなど様々な被害がありました。昨年の台風被害、六月の地震被害、そして今回の被害と、今後の修復を考えると大変厳しいものがあります。

しかしながら各所においても、まだまだ被害の傷跡が大きく、関西の社寺でも建物の倒壊など大きな被害があったところもあり、さらに、この文書を執筆している最中にも台風廿四号が迫っている報道を耳にするなど、自然の猛威に人は無力である事を痛感させられます。

こうした時、先人の人々は神さまにどう向き合い、そしてどう祈りを捧げたのか、その祈りの重さに思い新たにすることがあります。

十月もまだ台風季節。どうぞご用心下さい。

❀ 大阪市中央公会堂 竣工百周年

当宮御本社の東門からまっすぐ南にいったところにある、大阪市中央公会堂。大正七年十月三十一日に竣工してより、今月三十一日をもって、竣工百年となります。大阪が一番元気に溢れていた大正時代の傑作として現在は重要文化財にも指定され、また貴賓室の壁画は古事記の説話を西洋画風に描いたもので、近代神道美術の名作として評価が高まっています。アインシュタイン、ヘレン・ケラー、ガガーリンも講演をした歴史的な場所でもあり、今後とも大阪市民の宝物として大切にしていかなければならない場所です。なお公会堂としての開業は十一月十七日である事から、百周年のイベントなどは来月です。

❀ 御即位のはなし / 即位の礼

平成の御代から新しき御代への御代替わりを控え、四月まで、御即位に関するお話を掲載してまいります。即位礼当日賢所大前の儀(宮中三殿奉告)

斎田において稲穂が収穫されると、いよいよ天皇として即位された事を内外に宣明する即位の礼が挙行されます。その即位礼当日の朝、宮中三殿においてまず賢所の天照大御神、そして歴代の天皇の御皇霊、ついで八百万神々に、即位礼を挙行する事を天皇陛下御自らご奉告されます。

即位礼正殿の儀

お昼前に全ての成年皇族、三権の長、各国の首脳等が皇居に参集し、庭上には大錦幡と呼ばれる大きな錦の御旗が立て並べられます。

お昼十三時より皇居正殿松の間において、即位礼正殿の儀が挙行されます。この時、天皇陛下が登壇される玉座を高御座(たかみくら)といい、既に奈良時代の文献にも見え、古代より天皇のみが登壇できる皇位の象徴ともいえる玉座です。なお、皇后陛下の登壇される方は御帳台(みちやうだい)といい、これは大正天皇の御代に初めて創案されたものです。この玉座に登られて、天皇陛下は即位を宣明になります。陛下の宣明後、総理大臣の先導による万歳三唱が行われ、同時に祝砲が撃たれ即位が参集者に報せられます。

祝賀御列の儀

即位礼正殿の儀のあと、天皇皇后両陛下は御料車に乗車され、赤坂御所まで御列を組んで移動されます。私達国民が天皇皇后両陛下へ直接祝意を表す数少ない機会である事から、平成の即位礼の折も祝賀パレードは大変な人出でした。

❀ 今月の暦

【祭礼】秋祭(十五日)：梅田の秋祭り。神事のみ

【節気】寒露(八日)：露が冷気によって凍りそうになる頃
霜降(廿三日)：露が冷気によって霜となって降りる頃

【雑節】十三夜(廿一日)：旧暦九月十三日のお月見。豆名月

【大安】十月一日、七日、十一日、十七日、廿三日、廿九日

【祝日】体育の日(八日)

網敷天神社SNS、地図サイト

